

平成 22 年 10 月 12 日

大林宏検事総長殿

告 発 状

一 告発人

三井環(元大阪高検公安部長)

電話 03-****-**** Fax/03-****-****

携帯電話 080-****-****

e-mail:info@*****

平成 22 年 9 月 22 日、同月 27 日付告発状に本件告発状を追加して告発する。

二 被告発人

- ① 樋渡利秋(検事総長)
- ② 伊藤鉄男 (次長検事)
- ③ 鈴木和弘(最高検刑事部長)
- ④ 中尾功 (大阪高検検事長)
- ⑤ 太田茂 (大阪高検次席検事)
- ⑥ 榊原一夫 (大阪高検刑事部長)

三 告発事実

被告発人樋渡、同伊藤、同鈴木、同中尾、同太田、同榊原は共謀の上、林谷浩二(大地裁検事)、坂口英雄(同庁副検事)、國井弘樹(同庁検事)、遠藤祐介(同庁検事)、高橋和男(同庁副検事)、牧野善憲(同庁副検事)は平成 21 年 2 月頃から同 22 年 3 月頃までの間、大阪地方検察庁において「取り調べメモ」を廃棄し、村木厚子事件の証拠を隠蔽するとともに公務庁の用に供する「取り調べメモ」を毀損した証拠隠滅ならびに公用文書等毀棄の罪に当たる犯人であることを認識しながら、これを隠蔽したものである。

四 罪名及び罪状

犯人隠避、刑法第 103 条、第 60 条

五 告発の経過

平成 22 年 9 月 27 日付告発事実③において小林敬(大阪地方検察庁検事正)、玉井英章(同庁次席検事)、大坪弘道(同庁特捜部長)、佐賀元明(同庁特捜部副部長)、については犯人隠避罪で告発しているが、その上級庁である当時の幹部 6 人を追加告発する。

平成 22 年 3 月の村木厚子事件の公判において上記 6 人の検察官が「取り調べメモを廃棄した」旨証言したが、その証言結果は小林検事正名義で中尾検事長、樋渡検事総長、千葉法務大臣に公判経過報告がなされている(三長官報告)。

従って、その公判経過報告によって被告発人 6 人は証言した検察官 6 人が証拠隠滅罪および公用文書等毀棄の罪に当たる犯人であること十分認識していた。

それは公判経過報告の決済書類によって明らかである。

犯人隠避罪のついては不作為によっても成立すること疑う余地はなく、最高検における捜査が充分に行われるため、あえて告発するものである。

六 結論

以上の告発案件はいずれも組織的犯行であって逮捕、勾留、接見禁止を付して取り調べないことには罪状隠滅のおそれが極めて強い。したがって被告発人を逮捕、勾留して真相を解明し、起訴されたい。

以上